

令和7年度「おおいた地域連携プラットフォーム」単位互換科目一覧【前学期】

前学期:48科目

大学名	科目名	開講曜限		担当教員	単位数	他大学 受講者総数	対象学年	授業 回数	実施方法			到達目標	備考	大分を創る人材 を育成する力		
		曜日	時限						対面 授業	同時 双方 向型 オンラ イン	オンデ マンド			企業 力	地域 力	汎用 力
大分大学	生涯学習論入門	月	2	岡田 正彦	2	10名程度	1～4	15回	●			1.生涯学習に関する基本的事項を理解すること。 2.自らの生涯学習の展望を具体的に記述すること。 3.生涯学習を行っていくために必要な態度や知識、技術などについて理解しその向上に取り組むこと。 4.ライフデザインの概念を知り、自らのライフデザインについて具体的に記述すること。				
	こことーくでキャリアを拓く	月	2	宮町 良広 他	2	10名程度	1～4	15回	●			1.自らの高校時代の体験を振り返り、それを高校生との対話に活かすコミュニケーションができる。 2.こことーくのスタッフと協力して、高校訪問の企画・準備・運営やプレゼンテーションができる。 3.自分の進路体験を内省し、将来のキャリアを主体的に開拓できる基礎力を身につけている。				●
	原子と分子	月	4	大賀 恭	2	10名程度	1～4	15回			●	1.基本物理量、単位を用いて、適切な有効数字で測定値を表現・取り扱うことができる。 2.物質を構成する基本単位である原子の構造を説明できる。 3.原子同士の結合の種類とそれらの成り立ちを説明できる。 4.結合様式の違いに基づいて、分子の構造と性質を説明できる。				
	電気の世界Ⅰ	火	1	戸高 孝	2	10名程度	1～4	15回	●			1.電気に関する基本的な用語を理解し説明できる。 2.電気に関連した現象とそれを支配する法則を説明できる。 3.電気に関する基本的な材料の特性を理解し説明できる。 4.電気磁気現象を応用した工学技術を説明できる。				
	福祉テクノロジー入門	水	1	池内 秀隆	2	10名程度	1～4	15回	●			1.福祉とテクノロジーに関する対する正しい認識を判断できる。 2.障害や高齢に対する福祉テクノロジーに関する説明に対し正しい語句を示すことができる。 3.福祉機器に関する特徴や仕組み、用途などを述べることができる。 4.福祉テクノロジーに関する誤解や問題点を述べ、考察することができる。 5.各授業での説明について簡潔に要点をまとめることができる。				●
	コンピュータ科学入門	水	1	理工学部教員	2	10名程度	1～4	15回	●			1.コンピュータに興味を持ち、その発展の歴史を説明できる。 2.コンピュータ科学とその応用分野との関係を説明できる。 3.コンピュータの社会における基本的な活用法について説明できる。 4.コンピュータ社会が抱える課題に関心を持ち、自分自身の意見を述べることができる。				●
	化学史	水	1	檜垣 勇次	2	10名程度	1～4	15回	●			1.化学史と現代の物質観について説明できる。 2.原子/分子の視点で物質/現象を解釈できる。 3.他社との協働で課題を設定して調査できる。 4.調査した内容を理論的に述べることができる。				
	創造的思考法	水	1	鈴木 雄清	2	10名程度	1～4	15回	●			1.アイデアや情報を整理・視覚化したマインドマップを作成できる。 2.ブレインストーミングの意義や効果的な実施方法を説明できる。 3.ブレインストーミングによって、アイデアを創出できる。 4.KJ法を用いて断片情報を階層的にまとめ、関係性を可視化してアイデアを創出できる。 5.大分の地域活性化を題材に、アイデアを創出できる。				●
	保育学基礎論	水	2	齊藤 友子	2	10名程度	1～4	15回			●	1.乳幼児の発達基礎、乳幼児の発達を支える保育制度の現状、保育をめぐる社会問題について、基本的な事項を説明する。 2.グループワークを強調・協働して実行し、課題解決に取り組む中で、協同的な学びを言語化できる。 3.乳幼児や保育に関わる課題に興味関心を持ち、他者と意見を交わす中で自分なりに子供とかかわることができる。				●
	会社・組織研究	水	2	渡邊 博子	2	10名程度	1～4	15回	●			1.業界や企業、仕事や働き方について理解できる。 2.働くことにより具体的な認識を持ち、自身のキャリア形成を設定できる。 3.各回の講師の考えを取りまとめる中で、働くことについて共通した意義を探し出せる。 4.他者の考えに触れることで、新たな気づきを発見できる。 5.各企業や組織が抱えている課題を知り、その対応策を考える。				
	エレクトロニクスの世界	水	2	工藤 孝人 大野 武雄 大森 雅登	2	10名程度	1～4	15回	●			1.半導体集積回路、光通信、電磁波の分野で用いられている理論や技術について、基本概念や考え方、構造や仕組みなどを説明できる。 2.上述した3つの分野と現代生活との関係、及びその問題点を指摘できる。 3.広い視野でエレクトロニクス分野の課題に興味・関心を持ち、自分の意見を述べることができる。				●
	SDGs	水	2	井上 高教 氏家 誠司	2	10名程度	1～4	15回	●			1.SDGsに関する基礎的な知識を持ち、他者に分かりやすく説明することができる。 2.各種課題を「自分ごと」として捉えることができる。 3.他者の意見を理解し、共に考え、議論することができる。 4.SDGs推進の取組を提案することができる。				●
	東アジア史の諸相	水	3	甘利 弘樹	2	10名程度	1～4	15回	●			1.複数の手段で情報を収集・分析することを通して、中国史を理解するきっかけを創出できる。 2.課題解決の目標を設定しながら、中国史を分析できる。 3.東アジア世界の中に生きる私たちが、現在そして将来において何をすべきか考える姿勢を創出できる。				●

	初年次地域キャリアデザインワークショップ	集中	—	牧野 治敏 他	2	全体で20名程度	1・2	15回	●	●	1.多様な情報から、必要な情報を抽出し分析することができる。 2.組織や集団の一員として、積極性と柔軟性を持った議論を建設的に行うことができる。 3.グループ討議やプレゼンにおいて、自分の考えを他者に分かりやすく説明することができる。 4.自分の考えを基にして、他者と協調・協働しながら、大学での学び方を提案できる。 5.地域社会や企業が抱える課題に対応した提案ができる。 6.自分の生き方を構想し、自分自身が大学で学ぶ意義と価値を説明できる。	eラーニング、対面による合同授業併用型 合同授業(案)6月28日(土)、29日(日)、7月6日(日) 予備日、7月5日(土) ＜協働開発科目＞			●
	国際健康コンシェルジュ養成講座	集中	—	大下 晴美 他	1	10名程度	1～4	8回 (2日間)	●		1.病気・外傷の種類・重篤度・緊急度を判断することができる。 2.心肺蘇生法やAEDを用いた除細動による一次救命処置の手順を説明することができる。 3.感染症に対する基本的な知識を理解し、適切な感染症対策を行うことができる。 4.外国語(英語・中国語)の基本的な表現を使って、「身体症状を質問し、適切な指示を与える」ことができる。 5.多様な年齢、性別、人生観、仕事観を持つ社会人とコミュニケーションをとることができる。	6月14日(土)、15日(日)実施 社会人も受け入れ ＜協働実施科目＞			●
日本文理大学	ジェネリックススキル養成1	集中	—	吉村 充功 他	1	8名程度	1	8回 (2日間)	●		1.各自が「他のメンバーに配慮しながら、オープンな気持ち・態度になり、課題に向き合う際に、チームに積極的に関わり、チームに貢献することが自分を成長させ、今後の様々な場面でもそれが役に立つ」と意識できる。 2.フルバリュウ・コントラクト(人と良い関係を作る力、対人基礎力)、チャレンジ・バイ・チョイス(自分自身で積極的に動く力、対自己基礎力)という観点から、活動を各自がふりかえることができる。 3.体験学習サイクル(考える力、対課題基礎力)という観点から、活動を各自がふりかえることができる。	住吉浜リゾートパーク(杵築市)で1泊2日の合宿(宿泊・食費自己負担)。夏季休業中(9月上中旬頃の平日)に実施。 ＜協働実施科目＞			●
	自然生態学	月	2	中西 章敦	2	5名程度	2～4	15回	●		・自然環境や生態系に興味・関心を持つこと ・自然環境や生態系の基本的知識を理解すること ・自然環境や生態系の保全・再生に関する技術の基礎を身につけて、自身で表現できること ・上記の知識・技術・実践に基づいて 課題を解決するなどの創造的思考ができること			●	
	ミクロ経済学	月 火	1 2	今西 衛	4	数名程度	2～4	30回	●		講義の目的は、経済学の基礎的知識を習得し、それらを総合・活用し課題解決を図りテラシーが身につくことです。そのために、ミクロ経済学の基礎的な概念を体系的に理解します。ミクロ経済学は、経営経済学部での学びの根幹の一つです。選択必修だからと仕方なく受講するという消極的な姿勢ではなく、積極的に講義に参加してください。また、公務員(行政職・大卒程度)では、必要な科目ですので、公務員志望の学生も積極的に受講してください。			●	
	国際経済学	火	1	板倉 理友	2	数名程度	2～4	15回	●		1.なぜ貿易が発生するのか説明できる。 2.貿易政策の経済的効果を説明できる。 3.為替市場とは何かを説明できる。 4.交易条件がどのようにして決定されるのか説明できる。 5.保護貿易論について、その是非を検討できる。				
	公共経済学	火 水	5 2	森田 和子	4	数名程度	3・4	30回	●		1.公共経済学に関心をもち、積極的に授業に出席するとともに、自ら調べて体系的に学んでいくこと。 2.講義で学んだことを基礎に、大分県・大分市を含めた地域の課題を理解していく。 3.基本用語や経済学の分析方法をもちいて、テーマにそった小論文がまとめられる。 4.これからの社会で公共部門の果たす役割、特に地域経済との関連で公共部門の活動の重要性を理解できる。			●	
	スポーツ法学	水	1	鈴木 照夫	2	数名程度	3・4	15回	●		今日、スポーツをめぐる法的問題は、選手の契約・移籍に関する問題、肖像権に関する問題、事故に関する問題、ドーピングと人権の問題、スポーツ団体と競技者との関係に関する問題、その他多岐にわたり、また急増しています。また、一口にスポーツ法と言っても、スポーツ基本法などのスポーツに関する特別な法律だけでなく、民法、労働法その他さまざまな法分野が関わり、さらに、スポーツルールや団体規約などのスポーツ固有法もあります。本講義では、このように複雑多岐にわたるスポーツ法の現代的課題について、幅広く理解することを目的とします。			●	
	統計理論	水	4	本村 裕之	2	数名程度	2～4	15回	●		1.統計に対する嫌悪感の払拭 2.講義で学ぶ知識と実際の生活の上で見えてくる新聞・テレビなど各種メディアから得られる情報との整合 3.Excel、Mathematica、SPSS、Rといった各種アプリケーションに対する理解と利用法に対する初歩的能力の取得				
	マクロ経済学	木	1 5	板倉 理友	4	数名程度	2～4	30回	●		本講義では、マクロ経済学の基礎的な知識の習得に努めるものとします。最初に、マクロ経済学とはどのような学問かを、我々の生活の中での経済活動と関連付けながら用意に全体像が把握できるようにします。次に一国全体の経済の仕組みはどうなっているのか、国民所得とは何か、その所得水準はどのように決定されるのか、資産と所得の関係はどうか、インフレーションや失業の発生原因は何か、景気循環や経済成長はどのように生じるのか等を学ぶことによって、マクロ的な経済現象の理解を深めることにします。				
立命館アジア太平洋大学	アジア太平洋の宗教	月 木	3 3	宮部 峻	2	5	1～4	14回	●		1.近代と宗教の関係を説明できる 2.宗教の変容について、社会学の理論を用いて分析できる 3.現代社会で生じている宗教にまつわる問題について、社会学の理論、宗教史の知識を用いて考えを明確にできる 4.近現代日本宗教史研究の意義と問題を説明できる				●
	ヨーロッパの文化と社会	月	4	高瀬 圭子 他	2	5名程度	2	15回	●		1.ドイツ語圏の国々の文化、社会、歴史について、基本的な知識を得る。 2.フランス語圏の文化や社会について基本的な知識を得る。 3.ヨーロッパ文化の諸相を知ることを通じて、多様な文化を理解し、尊重する態度を身につける。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録が必要となります			●
	社会心理学	月	5	吉山 尚裕	2	5名程度	1・2	15回	●		1.対人関係や対人行動を記述・説明するための概念(専門用語)や理論を説明できる。 2.習得した概念や理論を使って、対人関係や対人行動の心理を説明できる。 3.社会心理学的な考え方を日常生活に活かすことができる。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録が必要となります			
	大分の観光と文化	火	2	晴谷 憲洋 宮野 幸岳 堤 亮介	2	5名程度	1・2	15回	●		1.大分の観光や文化についての基礎的な知識を身につける。 2.地元出身者にも意外に知られていない観光資源としての大分の魅力を再認識する。 3.観光振興の戦略や問題点について認識する。 4.大分の観光振興について主体的に考える態度を養う。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録が必要となります			●
	地域づくり論	火	2	安倍 尚紀	2	5名程度	1・2	15回	●		毎回の講義中に提示されるさまざまな映像コンテンツや事例について、分析のための視点を習得し、自分自身の立場を把握し、事例や方法論を通して、「地域」「地域づくり」の具体的なイメージを持ち、レポート・口頭発表等の形で提言できるようにすることが、受講者の最終目標です。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録が必要となります			

大分県立芸術文化短期大学	アジアの文化と社会	火	3	許 挺傑 李 杰再	2	5名程度	2	15回	●		＜中国＞授業では中国および中日関係について、様々な角度から紹介していく。日本との比較を通じて、両国の社会・文化の類似点と相違点を知り、異文化である中国への理解を深めることを主目標とするが、同時に自文化（日本文化、社会）への再認識を促すことも授業目標の1つである。また、中国と日本の関係を理解し、未来志向で両国の関係を構築していく上で何が重要かについても、受講生と一緒に議論していく。 ＜韓国＞一年次の必修科目として受講した「国際総合入門」（韓国）で学習した韓国社会・文化（衣食住、冠婚葬祭）に関する知識をベースに、戦後韓国における歴史（朝鮮戦争や民主化運動）についての理解を深めることを目標とする。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録が必要となります			●
	現代社会論	火	4	安倍 尚紀	2	5名程度	1・2	15回	●		さまざまな社会学者と彼らが取り組んだ課題、授業中に提示される命題、映像やマンガなどの素材を切り口にしながら、 (1)社会学の方法論や理論について受講者なりに全体像を持ち、表現することができること、(2)特に現代社会の容容や社会問題について、自分自身の問題として翻訳し、論述できるようになること、が到達目標です。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録が必要となります			
	近現代世界の歴史	木	5	晴谷 憲洋	2	5名程度	2	15回	●		1.今日の世界情勢につながる現代史の展開について、基本的概念と基礎知識を習得する。 2.日本と世界の現代史について、一冊のテキストに則して深く学習することを通して、世界の様々な事件や事象に関して、批判的かつ理性的に考える態度を身に付ける。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録が必要となります			
	ヨーロッパの歴史	金	2	晴谷 憲洋	2	5名程度	1・2	15回	●		1.EUによるヨーロッパ統合・拡大や「ユーロ危機」など、何かと注目される「ヨーロッパ」について、他の文化圏との交流といった側面も踏まえながら、通史として把握することが出来る。 2.現在のEUの「統一の中の多様性」という概念を、歴史的に理解することが出来る。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録が必要となります			
	ビジネス心理学	金	3	吉山 尚裕	2	5名程度	2	15回	●		1.組織の人間行動を記述・説明するための概念(用語)や理論を理解している。 2.習得した概念や理論を使って、組織の人間行動について説明できる。 3.産業・組織心理学的な考え方を社会生活に活かすことができる。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録が必要となります	●		
大分短期大学	ガーデニング概論	月	1	摺嶋 宏 橋本 裕輝	2	5名程度	1～4	15回	●		1.世界の庭の歴史と様式について説明することができる。 2.大分における季節ごとの園芸作業のポイントについて説明することができる。				
	園芸療法Ⅰ	月	2	小石 鉄兵	2	5名程度	1～4	15回	●		1.植物が人に与える効能について、福祉的かつ療法的に活用し期待される効果を説明できる。 2.園芸療法の原理と原則を理解できる。				
	飼料作物学	月	2	小野 宣幸	2	5名程度	1～4	15回	●		後日送付予定				
	畜産学	金	2	小野 宣幸	2	5名程度	1～4	15回	●		1.我が国における畜産農業の位置づけを理解し、それを他人へ表現することができる。 2.家畜の飼育環境、生理・生態を理解し、他人へ表現することができる。 3.飼料の生産と利用について理解し、他人へ表現することができる。 4.ブタ、ニワトリ、ウシ等の家畜について理解し、他人へ表現することができる。				
東九州短期大学	宗教学Ⅰ	未定	未定	緒方 義英	2	5名程度	1～4	15回	●		親鸞聖人の生涯と教えを通して、宗教的な価値観と世俗的な価値観を比較・検討し、人間の本来に拠り所とすべき「真実の教え」とは何かを問いながら、宗教の本質について考察する。 1.仏教の本質を理解し、説明することができる。 2.浄土真宗と他の仏教の違いについて説明することができる。				●
別府溝部学園短期大学	温泉学	集中	-	竹村 恵二 他	2	10名程度	1～4	15回	●		1.温泉資源の利活用について幅広く実践的な基礎知識を身につけることができる。 2.大分県の温泉、特に別府温泉を題材に温泉の自然と文化を学ぶことができる。 3.温泉県大分の情報発信ができる温泉コンシェルジュをめざすことができる。	フィールドワーク有り		●	
	温泉コンシェルジュ演習	未定	未定	大塚 大輔 他	2	5名程度	1～4	30回	●		1.(別府)温泉コンシェルジュに必要な知識や資質・能力を説明できる。 2.「おすすめめの別府案内」プログラムが提案できる。 3.「おすすめめのほしご湯」機能浴が提案できる。 4.他人の話に耳をよく傾け、適切な対応をしようとする心がかかることができる。 5.顧客や職場等を理解し、多様な価値観を受容する心がけができる。	フィールドワーク有り		●	
	ICTの活用	未定	未定	實本 真理子	2	5名程度	1～4	15回	●		1.情報を収集・分析し、適切な表現方法を選択することができる。 2.聴衆の理解を促すわかりやすいスライドを作成できる。 3.プレゼンテーションソフトの基本的な操作ができる。				●
	中国語Ⅰ	未定	未定	里中 玉佳	1	5名程度	1～4	15回	●		1.中国語による基礎的なコミュニケーションができる。 2.文化体験授業を通して、基本的な知識を身につけることができる。				●
	日本の文化・着付けⅠ	未定	未定	笠木 扶美	1	5名程度	1～4	15回	●		1.着物の種類や和装一式の名称を覚えることができる。 2.ゆかた、小紋の着付け、帯結びを習得することができる。 3.和装の心得について知ることができる。				●
	栄養学	未定	未定	牧 昌生	2	5名程度	1～4	15回	●		1.各栄養素の種類及び体内でののはたらきを説明できる。 2.消化と吸収について理解できる。 3.エネルギー代謝について理解できる。				●
	食品衛生学	未定	未定	牧 昌生	2	5名程度	1～4	15回	●		1.食中毒の種類とその原因及び対策を説明できる。 2.食品添加物の安全性とその考え方を説明できる。 3.食品表示について説明できる。				●
大分工業高等専門学校	農学概論	未定	未定	帆秋 利洋	2	3	3・4	15回	●		1.農業と工学の関係を理解する。(課題、定期試験) 2.農業生産物の生産、管理、加工、流通、安全について理解する。(課題、定期試験) 3.いきものづくりについて、技術者の観点から概観できる。(課題、定期試験)				
	環境化学	未定	未定	森田 昌孝 他	2	4	3・4	15回	●		1.化学の基礎力をベースに環境問題の現状を把握し、環境保全への関心を抱くことができる。(課題評価) 2.化学的な視点から大気・水・土壌の汚染問題を議論できる。(課題評価) 3.化学物質の循環、越境および管理について理解することができる。(課題評価)			●	